

第96回全国専門委員長会

平成22年2月20日(土) 13時30分～17時00分

平成22年2月21日(日) 9時30分～11時30分

会 場 学校法人成城学校 成城高等学校 会議室

次 第

- 1 専門部長挨拶 高 松 彰
- 2 議長選出 全国高体連自転車競技専門部規約第24条第3項により専門部部長が議長を務める。 **原案通り決定**
- 3 議事録署名人指名 同規約第25条第1項により、
愛知県委員長、名城大学附属高等学校 伊藤 治郎氏 及び
山梨県委員長、山梨県立富士北稜高等学校 川上 等氏を推薦する。 **原案通り決定**
- 4 定足数確認 同規約第24条第1項により、都道府県専門委員長現在数の3分の2
(委嘱状を含む32名以上)の出席により本会議成立。
2月20日(土) 出席者45名、委任状2名により成立
2月21日(日) 出席者37名、委任状12名により成立
- 5 インターハイ謝辞 奈良県高体連自転車競技専門部委員長 徳地末広より奈良インターハイのお礼の言葉があった。
- 6 審議事項
 - (1) 副部長について (理事長)
理事会として、井上正継(静岡北高校)氏を推薦する。 **原案通り決定**
 - (2) 平成21年度事業報告について (別紙資料参照) (事務局) **原案通り決定**
 - (3) 平成21年度収支決算について (別紙資料参照) (事務局) **原案通り決定**
 - (4) 平成22年度事業計画(案)について (別紙資料参照) (事務局) **原案通り決定**
 - (5) 平成22年度予算(案)について (別紙資料参照) (事務局) **原案通り決定**
 - (6) 平成22年度全国高校総合体育大会について (沖縄県実行委員会)
平成22年度全国高等学校総合体育大会自転車競技大会実施要項(別紙資料参照)
トラックレーステクニカルガイド(別紙資料参照)
ロードレーステクニカルガイド(別紙資料参照)をもとに説明があった。 **原案通り決定**
 - (7) 平成23年度全国高校総合体育大会のスプリントの標準タイムについて (技術審判部)

原案どおり、平成23年度インターハイからスプリントの標準タイムを撤廃する。

(8) 平成22年度全国選抜大会実施要項について (別紙資料参照) (総務部会)

(ア) 参加人数の変更について

ア 選抜大会出場人数の基礎数を3人とし、残りは比例配分とする。

イ 前年度優勝校には、3名の出場人数枠を認める。

ウ 開催都府県については、3名の出場人数枠を追加する。

エ 全国大会入賞者の特別枠については、次回北九州市で行われる臨時全国専門委員長会議で決定する。

(イ) エントリーについて (1種目1名の実施に伴う標準タイムの設定)

1kmTTは、1分14秒000以内。3kmIPは、3分52秒000以内の標準タイムを設定し、第2希望制度を廃止する。

(ウ) 都道府県委員長提出書類の出場校出場選手確認表の扱いについて

選抜大会参加申込表に都道府県専門委員長の検印欄を設け、出場校出場選手確認表を廃止する。

(エ) 参加申込書の書式変更 (簡素化について)

今後、簡素化に向けて改訂する。

(オ) 女子種目の追加について

3競技種目 (2)女子 (エ)にケイリンを追加する。

その結果(オ)個人ロード・レースと繰り下げる

(9) 規約の改定について (別紙資料参照) (総務部会)

(ア) 事務局の所在地を明記する。

(イ) 全国の地域を廃止し、ブロック専門委員長を設ける。ブロック専門委員長は各ブロックで選出する。

(ウ) 役員選出規定を設定した。

(エ) 理事長選出規定を改定した。

(10) ユニフォーム登録申請について (別紙資料参照) (総務部会)

ジャージ登録からユニフォーム登録申請への変更に伴い、B4判からA4版に改訂した。

コメント欄を新設する。

原案通り決定

(11) その他

(ア) 全国高校総体の標準タイムについて、見直しも含めて検討する。(技術審判部)

7 報告事項

(1) 日本自転車競技連盟及び全国高等学校体育連盟の報告について (理事長)

JCFの強化体制についての説明があった。

来年度より、全国高校総体に毎日新聞社が主催に入り、8競技にゼッケン広告がはいる。

(2) 日韓対抗学生自転車競技大会について (理事長)

来年度は岸和田競輪場で実施予定。日程はケイリン開催の関係で未定。

(3) 平成21年度全国高等学校選抜自転車競技大会について (別紙資料参照)

総務部会が参加案内の資料にもとづき説明した。

技術審判部会から「競技者及び監督者へお願い」(別紙資料参照)

(4) 平成22年度全国高校総合体育大会について (別紙資料参照)

(秋田県実行委員会)

(5) 各専門部会より

(ア) 技術審判部会から報告があった。(別紙資料参照)

(イ) 強化部会から報告があった。(別紙資料参照)

(6) 平成21年度賛助費決算報告および賛助会員の募集について (別紙資料参照)
(事務局)

(7) その他